

調 査 研 究 彙 報

建 造 物 研 究 室

春日大社末指定建造物の調査 財団法人春日顕彰会から依頼を受けて、春日大社の摂末社および旧社殿移殿の調査を行い、同会から「春日大社摂末社等建造物調査報告」を刊行した。

(岡田・細見)

奈良市農家悉皆調査 1983年度から継続して行っている。旧奈良町街区を除く古民家の予備調査で、本年度で終了。次年度は二次調査を行う予定。

(宮本)

総持寺庭園・池氏庭園の実測調査 滋賀県教育委員会の依頼をうけて、長浜市に所在する総持寺客殿北側の池泉庭園(面積1,200㎡)と、東浅井郡浅井町に所在する、この地方の土豪池氏の住宅書院南側の枯山水庭園(面積400㎡)の2カ所を実測した。それぞれについて50分の1の平面図作成。

(安原・田中・高瀬・内田)

歴 史 研 究 室

興福寺典籍古文書の調査 昨年度にひきつづき、同寺所蔵の古文書・聖教函のうち、第3, 20, 28, 29, 33, 34, 35～36, 37, 41, 45, 46, 48函および長持函に別置されていたものを調査し、写真撮影を行った。調査は7月, 11月に行い、同調査の間に興福寺文書典籍目録第一巻の該当部分の原稿の原本点検を完了した。同目録は3月に刊行。

(鬼頭・綾村・寺崎・館野・加藤・八幡他)

法隆寺典籍古文書の調査 昭和資財帳の調査の一環として記録・古文書の調査を、奈良国立博物館と共同で行った。今年度は乙七函から丙四函までの作成および写真撮影を終了した。内容的には江戸時代の記録が中心であるが、室町時代の記録もまみられ寺史研究の上で貴重な資料をふくんでいる(鬼頭・八幡他)。なお、文化庁美術工芸課の依頼により法隆寺一切経の重要文化財指定調査に協力・参加した。1985年7月。

(鬼頭・綾村・寺崎)

法隆寺百万塔陀羅尼の調査 今年度は、1984年度末に新たに発見された陀羅尼経約2,000点について調査を行い、あわせてマイクロフィルムによる写真撮影を行った。

(鬼頭・八幡他)

薬師寺典籍古文書の調査 東京大学史料編纂所との第六回共同調査である。前回にひきつづき、10, 12～16, 20～24函の調書作成、10函の写真撮影を行った。内容は近世の記録・文書・聖教が中心である。1985年7月。

(鬼頭・綾村・橋本)

醍醐寺古文書調査 従来どおり同寺所蔵の古文書の調査・写真撮影を継続して行った。また、文化庁美術工芸課の依頼によって、同寺所蔵の古文書100箱分の指定調査に協力・参加した。1985年8月。

(鬼頭・綾村・橋本・八幡)

その他の調査 石山寺。1985年7～8月, 12月。

(加藤・綾村)

平 城 宮 跡 発 掘 調 査 部

神野向遺跡の発掘調査 常陸国鹿島郡高推定地の第5次調査。昨年度の郡庁中枢部の調査成果

をもとに、本年度は郡庁の外郭施設の確認調査を行った。郡庁中軸線から西方1町が自然の急峻な崖面となるため、これを東方に折り返し方2町の郡庁域を推定。東・南・北方の3カ所に調査区を設定した。調査の結果、区画施設の確認には至らなかったものの、東方に延ばした調査区で7棟の掘立柱建物と竪穴状遺構を検出。竪穴状遺構の埋土からは「鹿厨」「厨」「介」「神宮」「東殿」など250点にのぼる墨書土器が出土し、この一画が厨の一部を構成することが明らかになった。郡庁の範囲はさらに広がることが予想され、外郭施設の確認は来年度への課題として残された。茨城県鹿島町所在。1985年2月20日～3月31日。(毛利光・松村)

妻籠宿本陣跡地の発掘調査 長野県木曽郡南木曽町にある妻籠宿本陣跡地で行った発掘調査を指導した。本陣に関係する明確な遺構はない。14・15世紀の陶磁器が多く、この時期に考えられる遺構として石列や小石列がある。1985年7月25日～8月9日。(上野)

北代遺跡環境整備 富山市教育委員会の依頼により縄文時代の集落遺跡の環境整備基本構想の作成を行った。1985年4月～1986年3月。(高瀬)

宝塚古墳環境整備 三重県松阪市教育委員会の依頼により宝塚1号・2号墳の環境整備の基本設計を作成した。1985年4月～1986年3月。(田中・本中)

大官大寺環境整備 史跡指定・公有化のために地元説明用資料として大官大寺の環境整備の基本構想図を作成した。1985年11月。(田中・高瀬)

松花堂跡環境整備 石清水八幡宮の依頼により行ってきた松花堂の環境整備も本年度が最終年度となり、実施設計・施工の指導を行うとともに報告書の作成を行った。『史跡松花堂およびその跡環境整備事業報告書』。1985年4月～1986年3月。(田中)

宮跡庭園環境整備 奈良市の依頼により行ってきた環境整備は最終年度をむかえ、池辺の植栽の施工の指導をするとともに報告書の作成を行った。『特別史跡平城京左京三条二坊宮跡庭園復原整備報告』。1985年4月～1986年3月。(安原・田中・高瀬・本中)

環境整備担当者会議 1985年11月21～22日。10回目のこの会議は福岡県で行われ、常任担当者の他、福岡市などの参加もあり、環境整備全般の問題について意見交換が行われた。(田中)

埋蔵文化財センター

今帰仁城の写真測量 ナゴジングスケ 沖縄県国頭郡今帰仁城の外郭石塁の第6次写真測量を昨年に続いて今帰仁村が実施、これを指導した。SMK 120, SMK 40を使用した地上写真。地表に1m程度しかあらわれていない石塁が、部分的には地下3～4mまで残っていることが判明した。なお現在までで、城全体のほぼ半分の測量を終了している。1986年2月17日～28日。(木全・伊東・松井)

荒神谷遺跡の探査 前年に銅剣358本がみいだされて注目をひいた島根県簸川郡斐川町神庭荒神谷遺跡で、県教委が前年出土地点の周辺をレーダーおよび電磁誘導法で探査、これを指導した。この結果、銅剣出土地点東方6mに金属製遺物の存在を推定。はたして、この地点に銅鐙6個、銅矛16本が埋納されていることが判明した。1985年7月8日～13日。(西村)

讃岐国分寺僧房跡の発掘調査 香川県綾歌郡国分寺町教育委員会による発掘調査の指導。21間

× 3 間の礎石立ち東西棟の東半部を検出。柱間装置（地覆）も良く残り、間取りの復原が可能。桁行中央方 3 間を食堂的な共同利用空間とし、東西に桁行 3 間を単位とする房が各 3 房（計 6 房）連らなる。各房は前面 1 間通りを吹放し、もしくは昼間の居住空間に当て、後方の梁間 2 間分では桁行中央間を通路、両脇に方 1 間の室を各 2 室（計 4 室）設け、中央通路から各室に入りするようになっていた。1985 年 8 月～11 月。（岡田・町田・巽・上原）

瑞泉寺庭園の保存処理 鎌倉市にある瑞泉寺の庭園（国指定史跡）の中心部にあたる中之島、および裏山に通じる階段は、すべて凝灰質砂岩で出来ており、近年劣化はなほなだしく、瑞泉寺が国庫補助を受けてその保存処理を行い、それを指導した。合成樹脂を散布する従来の方法によらず、減圧含浸法を採用した。1985 年 10 月 6 日～10 月 8 日。（沢田・肥塚）